

平成 29 年 8 月 28 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第 10 回会合
開催日時	平成 29 年 8 月 10 日(木) 13:30 ~ 16:00
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2 階 第 3、4 会議室
参加人数	委員 24 名（山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、可児委員、齊藤委員、坂場委員、糸岡委員、浅野委員、大本委員、小竹委員、与能本委員、中井委員、高田委員、久保委員、岡野委員、戸田委員、原委員）、常時参加者 6 名
議 事	<p>1. SDC/SDG 全体概況 岡野委員から、SDC/SDG に関連する経緯と近況、専門委員会の開催実績などが紹介された。SDC は、国際レビュー反映と IAEA SSR 2/1 改訂に伴う反映について GIF 内議論が整理された状況にあり、今後 GIF 内の確認・承認プロセスに入ってゆく予定である。安全アプローチ SDG の国際レビューとして、IAEA からの中間レビューに対する GIF 側議論が開始され、現在進展中の原子炉容器内事象終息や燃料集合体内流路閉塞などの議論が紹介された。5 月に開催された GIF SDC タスクフォースと 6 月にロシアで開催された FR17 国際会議の概要が報告された。FR17 では各国次世代炉の SDG との対応などが SDG 特別セッションで議論されたことなどが報告された。</p> <p>2. 系統別 SDG ガイドラインの改定について 久保委員から、本委員会における系統別 SDG 検討の進展と、GIF における各国からのコメントの概略が説明された。系統別 SDG の重点項目に対する各国コメントのポイントと、コメント個々に関する議論進展状況について説明がなされた。崩壊熱除去系の機能強化における運転員操作や航空機衝突対策の系統別 SDG での記載ぶりなどについての質疑が行われた。</p> <p>3. 各国 SFR 設計概念と SDC/SDG への適合性 島川幹事から、SFR 開発各国における SFR 最新設計と SDC/SDG との対応に関して、国際会議や公開資料に基づく調査結果が紹介され、関連する議論が行われた。主な調査対象はロシア、フランス、インドでの SFR 次世代炉であり、特に、炉心設計、受動的炉停止方策、CDA 対策、除熱源確保方策、炉容器内液位確保方策等について、SDC/SDG の要件との対応の観点からの分析について説明が為され、概して、要件を満足させる方向で各国 SFR 次世代炉の安全設計が進んでいる旨の説明がなされた。個別の安全対策における要件充足性については、今後もフォローしてゆくことが重要などの議論が行われた。</p> <p>4. SDG 研究専門委員会報告書ドラフトの確認 山野幹事から、本委員会最終報告書のドラフト版完成が報告され、内容・構成についての概略説明が行われた。委員会後メールにて委員に送付されるドラフト版電子ファイルに対して、9 月 11 日までに委員からのコメントを依頼する旨の説明がなされた。また最終報告書完成までのスケジュールが説明された。</p> <p>5. その他 今回の第 10 回会合が本委員会の最終会合となることが説明された。また今後の委員会関連の活動として、9 月の原子力学会秋の大会にて企画セッションが設けられ委員会の総合活動報告が行われること、委員会活動をまとめた解説記事を原子力学会誌に投稿する予定であることが説明された。</p>
備 考	